

子ども教育学部の理念と三方針

1. 学部の教育目的（学則 第1条 第2章）

「子ども教育学部は、現代人としての教養と教育保育分野の豊かな専門知識・技能をもち、子どもや保護者への共感力をもつと共に、高い使命感と倫理観に基づいて現代社会のニーズに応じてゆける小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士の養成を目的とする。」

2. 子ども教育学部の教育目標

- 1) 現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力の育成（人間力）
- 2) 専門職としての確かな知識と技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる小学校教諭・幼稚園教諭・保育教諭・保育士の養成（専門力）
- 3) 自律的学習態度・課題探究能力の育成（課題探究能力）
- 4) 教育・保育分野における実践知と地域貢献力の育成（実践力・地域貢献力）

（「学部で獲得する力」と「学力の3要素」の関係）

学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	教育保育の 専門力	課題探究力	教育保育の 実践力・ 地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎

3. 子ども教育学部の三方針

（1）学部ディプロマ・ポリシー（学部 DP）

以下の力や資質を獲得したものに「学士（子ども教育）」の学位を授与する。

DPⅠ：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。

DPⅡ：専門職としての確かな知識・技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる教諭・保育者の資質を獲得している。

DPⅢ：自律的学習態度・課題探究能力を修得している。

DPⅣ：教育・保育分野の実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。

（卒業要件）

本学を卒業するには、子ども教育学部子ども教育学科は4年以上（8年以内）在学し、合計124単位以上を習得しなければならない。

また、教育職員免許状、保育士資格を取得しようとするものは、それぞれの免許を取得するのに必要な科目および単位が法等によって定められているので、その規定に従い履修すること。

（「学部で獲得する力」や「学力の3要素」と学部DPの関係）

学部ディプロマ・ポリシー	DP I	DP II	DP III	DP IV
学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	教育保育の 専門力	課題探究力	教育保育の 実践力・ 地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎

（2）学部カリキュラム・ポリシー（学部CP）

1）教育課程編成方針

以下の方針に基づき、子ども教育学部のカリキュラムを編成する。

CP I：教育課程に教養科目と専門科目を置く。

CP II：基礎的・一般的学習から発展的・研究的学習へ、という順序性を持った科目配置とする。

（「学部で獲得する力」や「学力の3要素」と学部カリキュラムの関係）

カリキュラム	教養科目	専門科目	専門演習科目・ 研究科目	実習科目・ボラ ンティア科目
学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	教育保育の 専門力	課題探究力	教育保育の 実践力・ 地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎

2）教育課程実施方針

以下の方針に基づき、子ども教育学部の教育を実施する。

CP III：教室内での学びと教育・保育現場での実践的な学びを組み合わせる教育を行う。

CP IV：学生の学びを引き出す、アクティブラーニングを行う。

CP V：シラバスにおいて、挙証可能な学習成果と評価方法を示す。

（3）学部アドミッション・ポリシー（学部AP）

子ども教育学部への入学者に以下の力や資質を求める。

AP I：現代人に求められる教養の基礎やコミュニケーション基礎力を持っている。

AP II：専門の知識・技能を修得するための基礎学力や、教諭・保育者になるための意欲・関心・適性を有している。

AP III：自律的な学習態度や、課題に対する思考力・判断力への基盤を持っている。

AP IV：教育・保育の実践から学ぶ姿勢と地域貢献への意欲を持っている。

(「学部で獲得する力」や「学力の3要素」と学部APの関係)

学部アドミッション・ポリシー	AP I	AP II	AP III	AP IV
学部で獲得する力 学力の3要素	人間力	教育保育の 専門力	課題探究力	教育保育の 実践力・ 地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	○	○
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	○	◎	◎